

夕陽

第 153 号

2020年3月 発行

社会福祉法人慈生会 バトレヘム学園
〒204-0024 東京都清瀬市梅園3-14-23 TEL 042(491)2529 FAX 042(491)7827

成人のお祝い会



同じ敷地内に
あるナザレット
の家から卒園
生の元担当職
員さんも参加し
ていただきました

「旅立ちをまえに」

勤め始めてまもなくの頃です。3月に卒園を控えた高校3年生の女の子が、卒園までに担当職員みんなの似顔絵を描きたいと言い出し、その当時畳敷きだった職員の部屋の入り口に座って、宿直の日などに向かい合って描いてもらうということがありました。高校生になってからの関わりのため、日頃から「やり方が合わない。」と言われたり、文句のような違和感を口にすることもありましたが、それでも残り少ない学園での生活を惜しむように、他の2名の職員とも時間を作って描いていました。

ある日のこと、言いたいことがあると改まったように声をかけてきたので、また何か言われるのかなと思っていると、「年下の子たちの為にも学園を辞めないでほしい。なぜなら、散々自分たちに“こうしろああしろ”と言っていたのに、辞めるってどういうこと。辞めて別の仕事をするなんて。」と職員全般に対する想いをこれだけは伝えたいと言って話してきました。その当時、結婚後も仕事を続ける例は少なく、職員の退職理由が結婚なら仕方ないとして、自分たちに色々価値観を押し付けてきたのに辞めて他の仕事に就くなんて納得できない。出来るだけ長く続けていってほしいと言うのです。人が替わる大変さや私たち大人の言動や振る舞いが子どもたち一人一人に大きな影響を与えていること、一人の人の子ども時代という貴重な時にたずさわっていることの責任の重さを深く感じ、心に残った言葉でした。

あれから20年が過ぎ、随分働き方も変わってきて育児をしながら続けている方も多くなりました。どうしてもそれぞれのタイミングで出会いとわかれば起こるものですが、様々な世代や色々な働き方で、今いる子どもたちに出来るだけつながりのある関わりを目指してやっていきたいと思います。

バトレヘム学園は新園舎に引っ越して丸2年が経ちました。3月に6名の高校3年生が社会へと旅立っていきますが、これからも時々立ち寄りたり、帰ってこられる「家」として一緒に見守っていただけよう今後も宜しく願い致します。

養護主任 鈴木則子



ハロウィン

巷では年々盛り上がりを見せるハロウィン。今年、同じ法人の老人ホームから声をかけて頂き、ハロウィンを開催しました。「トリックオアトリート！」と言いながら老人ホーム内を周り、教会の神父様のお宅にもお邪魔し、お菓子を頂きました。思い思いの衣装をして、子ども達はハロウィンを楽しんでいました。



七五三

11月16日、晴天で暖かい中、七五三のお祝い会を行いました。今年は7歳が1名、5歳が2名、4歳児になる女の子が2名の計5名を保護者の方、フレンドホームさん、職員や学園の児童、老人ホームの方、そして神父様とシスターでお祝いしました。沢山の人の見守られながら、自分で選んだ着物に嬉しそうに身を包んで立派に式に参加することができました。これからも元気にすくすく成長できますように皆で見守っていきたいと思います。 矢上



クリスマス会

12月22日にクリスマス会を行ないました。第一部は子ども達による聖劇で、1か月前から行っていた練習の成果を十分に発揮し、上手に演じきっていました。第二部は、第一部の厳かな雰囲気から一転して、楽しいオープニングムービーから始まり、歌や演奏、クイズ等、クリスマス感満載の盛りだくさんな内容でした。子どもたちの笑顔を沢山見る事ができ、素敵な会になりました。 土門

聖劇に参加した児童の声

「みんなにかわいいといわれて、てをふってもらってかんだうした」 M. T

「イエスをだっこできて楽しかった。みんなで(舞台袖で)待っているのも楽しかった。」 K. H

「きんちょうしたけどたのしかったです。」 R. M

「ひつじかいたのしかった。またやりたいです。」 R. K

「博士、練習がとてもつらかった。」 N. E

「ずっとやりたかったマリア役ができて、とてもうれしかったです。」 S. T

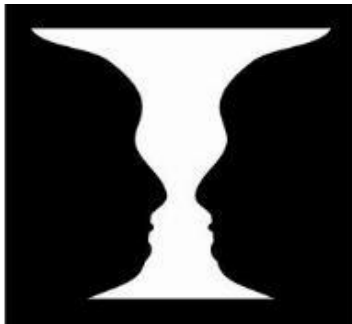
「天使はとても楽しかったです。次もやりたいです。」 N. K





職員インタビュー

今回で第3弾になるベトレヘム学園の職員インタビュー。今回は、園内心理士を紹介
します。



心理士の役割は、困っていることについて、
解決できるように一緒に考えて、乗り越えら
れるようにお手伝いをする人です。心理の
時間は、子ども1人1人のニーズに合わせて、
お子さんと一緒に決めていきます。
右の絵は、ルビンの杯(壺)というものです。
杯に見える人もいれば、2人が顔を向き合
わせた絵に見える人もいます。
このように見方を変えると、違ったものが見
えるように心理の時間を提供しています。1
人で抱え込まず、誰かに相談することで、
今まで気づかなかったことが見え、解決の
ヒントが得られるだろうと思っています。

貝澤

アニマルセラピー

アニマルセラピーでは、地域のボ
ランティアの方々にご協力頂き、犬
との触れ合いを体験しています。

犬の気持ちをボランティアさんに教
わりながら、散歩やえさやりに挑戦
しており

”相手を大切にする経験”にも繋
がっています。毎回見せていただ
いているわん芸には、子ども達全
員大盛り上がり。子どもたちにとっ
て特別な時間になっています。

中村



スマイルズ・遊びの会

放課後、遊びボランティアの皆さんが
来園されると、子ども達は急いで学習
室に向かいます。「よく来たね」と声を
かけられると満面の笑みで、大好きな
ボランティアさんの膝の上に座り、絵本
や紙芝居の読み聞かせを熱心に聞き
入ります。

また、季節に応じた工作をしており、
出来上がった時には達成感に満ち溢
れた表情を浮かべています。



チャリティーコンサート

令和元年12月10日、卒園生の支援を目的としたチャリティーコンサートが行われました。今回は鈴木施設長が実行委員長で、係として複数名の職員も参加しました。チケット販売にご協力頂き、ありがとうございました。

高橋倫子



どんぐり祭

今年のどんぐり祭では、エンターラボ様より、入り口にバルーンアーチを作成して頂きました。作成に児童も加わり、会場がとても華やかになりました。他にもたくさんの方々にバザー品の提供、販売のお手伝い等をして頂きまして、ありがとうございました。

金子



寄付(令和元年9月～令和2年1月)

(株)徳洲会 竹林央人様/キムチ物産様/須永澄人様/青木秀子様/若宮恵子様/新田盛嗣様/メリーチョコレートカムパニー様/(社)あけの星会様/秋津輪業様/久田幸子様/株式会社朝日新聞社様/大森正子様/全国児童養護施設総合寄付サイト運営事務局様/全国シャンメリー協同組合様/文屋様/日本鏡餅組合様/東洋英和女学院小学部様/ほっともっと様/和田有弘様/藤波聖子様/ムーンバット株式会社様/株式会社チュチュアンナ様/一般社団法人EARTH COLOR PROJECT様/株式会社エンターラボ様/毎日新聞/東京社会事業団様/東京馬主協会様/福福バルーン様/飯島昌子様/株式会社コーラ様/読売新聞様/社世界の野球グローブ支援プロジェクト事務局様/平林健司様/みらいこども財団様/真砂毅様

他に、匿名の方からもご支援頂いています。いつも子どもたちのためにお心遣いを頂き、感謝しております。本当にありがとうございます。

編集後記

門出が近づく季節となってきました。子どもと一緒に過ごしているとその元気さからか、1年があっという間に過ぎ去って行くような気持ちになります。しかし、ふとした時に子どもの仕草から成長を感じられる瞬間があり、目に見えなかった可能性がゆっくりと芽を出したのだと感慨深い思いです。旅立ちを迎える卒園生、学年が上がる子達のこれからを来年度も希望を持って見守っていきたいと思います。今年度も皆様には大変お世話になりました。来年度もよろしくお願い致します。

杉本・東・木暮・鈴木則子・鈴木真奈美

